

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	翔～ステラ～			
○保護者評価実施期間	R8年 1月 7日 ～ R8年 1月 22日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数)	15
○従業者評価実施期間	R8年 1月 7日 ～ R8年 1月 17日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 1月 27日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	様々な活動を取り入れており、色んな経験を積むことができる。	通常日は、個々に応じた学習や生活訓練、専門職のリハビリなどを取り入れた個別支援や公園・室内レクなどを主に取り組んでいる。その他にも、お金の勉強やお話の会などの活動も取り入れている。休業日には、遠方へのお出かけ、お買い物体験、クッキング、温泉、映画館、ハロウィンやクリスマス会など季節に応じた活動などバリエーションに富んだ活動を取り入れている。	活動の計画(日案)の制作、事前に場所確認、施設内の確認などを行い、一日を有意義に過ごせるように事前に活動準備を行っている
2	送迎サービス	長期休暇、土日祝日も自宅前もしくは保護者様の都合等も考慮し可能な限り、送迎場所、時間の調整などを行い対応している。また送迎時に保護者への活動報告などコミュニケーションを図ることでよりよい信頼関係が保たれている。	送迎を有効活用し、今後も保護者との連携をしっかりと図れるようにする。
3	土日祝日、長期休暇のサービス提供時間が長い。	長期休暇、土日祝日は長時間のサービス提供の為、活動として、遠出の活動を取り入れるなど、時間に余裕をもって一人一人の利用者にしっかりと向き合っている。	今後も長期休暇、土日、祝日のサービス提供時間を維持していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	普通学校と特別支援学校の下校時間にバラつきがあるため、平日は活動開始時間や活動が限られてくる。	それぞれの学校の下校時間のバラつきや、普通学校の宿題支援などから日によって活動時間の短縮を行わなければならない事もある。	公園で活動できる遊びや室内でのレクリエーション等、限られた時間を有効活用しながら、安全に楽しみ・学べる活動を考え取り組んでいく。
2	事業所の設備等、利用者の障害者特性に応じたバリアフリーなどの配慮が適切にされていない場所がある。	急な階段には滑り止め、手すりを設置してできる限りの対応はしているが、身体が不自由な利用者の階段昇降時には常に配慮が必要とされる。	階段等の修繕は難しいため、階段昇降時には一対一の支援に入るなどの配慮、また不要な物は床に置かないなどの取り組みを行っていく。
3	地域交流の機会が少ない。	コロナ禍の流れから中々地域交流やた事業所との交流が図れていなかった。	昨年は、地域での交流は少なかったが、他法人の放デイとの合同の活動を行ったりと今後も徐々に交流の機会を設けていく。